

Town Gallery



「釣りバカ日誌18」鏡野町でロケ(5月17日～18日)

今夏全国公開予定の映画「釣りバカ日誌18」のロケが5月7日から岡山県内で始まり、鏡野町での撮影が、鏡野町中央公民館で行われました。

17日のロケでは、作中で描かれている瀬戸内海のリゾート開発計画に対する住民説明会のシーンが撮影され、主演の西田敏行さんやヒロインの檀れいさんなどを交え、県内外から約100名のエキストラが参加しました。

午前9時から始まった撮影は午後7時までと長時間に渡りましたが、最後まで緊張感を保ちながら、順調に撮影が行われました。また、高松市出身の朝原雄三監督からは、エキストラ一人ひとりに細かく演技指導が行われ、クライマックスの場面では、出演者全員による熱のこもった演技が見られました。

鏡野町からは18名のエキストラが参加し、この日撮影に参加した簑木剛臣さんは、「セリフが無いシーンでも表情などで演技を求められて、とても難しかった。」と話していました。



大盛況！夢広場「春の味覚祭」(5月4日～6日)

10周年記念「春の味覚祭」(鏡野町振興公社主催)が、鏡野ふるさと物産館「夢広場」で3日間にわたり開催されました。

夢広場青空市場では、旬のとれたての新鮮な野菜・花などを多くの来場者が買いもとめていました。

テント村では、鏡野町の特産品の「ひらめの塩焼き」「地鶏のジャンボ串焼き」「山菜おこわ」「焼きそば」「うどん」「手づくりこんにゃく」「巻き寿し」「ちらし寿し」「山菜」「かしわ餅」「杵つきもち」「鶏唐揚げ」「ロールケーキ」「たこ焼き」「鯛焼き」「鮮魚」などが販売され、山の幸、海の幸がいっぱいの味覚祭でした。

イベント期間中は豚汁や町内産の新鮮フルーツトマトを使ったトマトジュースなどの無料サービスも行われました。

また、イベント広場では、郷土芸能のソーラン踊りや銭太鼓などが披露され大歓声があがりました。さらに、子供を対象とした「ジャンボサイコロゲーム大会」、大人も参加できる「ビンゴゲーム」や「椎茸原木切り競争」など各種イベントが実施されました。

5月4日には津山商業高校の生徒の皆さんが大事に育てた「錦鯉」の展示販売、5月5日の子供の日には「キャラクターショー」、5月6日のフィナーレには「餅投げ大会」が実施され多くの家族連れでにぎわいました。

